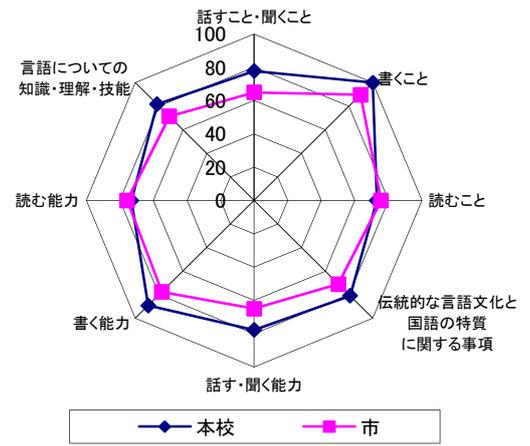


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	77.8	64.9	69.8
	書くこと	100.0	89.8	81.9
	読むこと	73.1	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	81.0	71.0	75.0
観点別	話す・聞く能力	77.8	64.9	69.8
	書く能力	89.2	77.7	73.7
	読む能力	73.1	75.6	75.1
	言語についての知識・理解・技能	81.7	71.4	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○「話し合いの内容を聞く」の正答率は100%である。話し手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞きとることに一定の成果が見られる。 ●「司会者の役割を理解して、計画的に話し合う」設問の正答率が低かった。話し合いのテーマに合った発言をするよう、発表者に指摘するつもりで、適切な言葉で書くことに課題が見られる。	・国語をはじめ、他教科、領域の中で話し合いの司会者を経験する機会を意図的に作っていく。 ・話し合いなどにおいて、話の趣旨や要点を便宜確認しながら論点に合った話し合いの仕方を指導する。
書くこと	○書くことにおいて、指定された長さ、2段落構成、自分の意見とその理由を区別して書くといった条件をすべて押さえて書くことができ、正答率は100%であった。これまでの作文指導の成果が見られる。	・テーマを決めて自分の考えを書いたり、字数制限などを設けて取り組ませたりして、条件付きの文章を書く力を育む。 ・文章のつながりや全体の構成を意識して書くように指導する。
読むこと	○説明文における指示語の内容を読み取る問題では100%の正答率であった。物語の登場人物の位置関係から場面を読み取る問題でも正答率は高かった。 ●「読むこと」の領域では、市の正答率を下回る問題が多かった。特に物語の場面描写の読み取り、説明文の文章の内容の読み取りでの正答率が低く、課題が見られた。	・読解能力を育むために、叙述に即した読みの指導を行うことや多様な文章に触れられるよう、読書活動の充実を図る。 ・説明文では、内容を整理するために、段落やまとまりの要点を簡単にまとめる活動に重点を置く。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○第5・6学年の配当漢字に関する設問の平均正答率は、市平均正答率より高い。漢字の読み書きに一定の成果が見られる。 ●言葉の学習に関する設問の平均正答率は漢字と比べると低い。主語や述語への理解、尊敬語や謙譲語の使い方に課題が見られる。	・日常から敬語を活用するとともに、尊敬語と謙譲語の違いと使い方を指導していく。 ・学習した語句を確実に定着させるために、習得した語句を文章の中で進んで使うよう、日常的に確認させながら継続的に指導する。